

横浜市薬剤師連盟だより

ご挨拶



自由民主党横浜市議員団 団長 梶村 充

自由民主党横浜市議員団団長の梶村充でございます。

日頃より向井会長をはじめとして、社団法人横浜市薬剤師会の皆様には、当団の議員がそれぞれの地域においてひとかたならぬご支援、ご協力をいただいております。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

興味本位で正しい知識がないままに薬物に染まっていく若者が多くいます。インターネットで簡単に情報が得られ、ネット販売などで薬物が入手できる、そうしたことが様々な事件を引き起こすきっかけとなっています。

日本薬剤師会を中心に、薬のプロ集団として先頭に立ち、薬物乱用防止に向けて強力に地域や学校で普及啓発の活動をされ、健全な社会の構築に力を注がれていることに対し、大いに敬意を表します。

また、災害時医療の取り組みとして横浜市との協定により災害医薬品の備蓄を進められていると伺っています。これまで地域医療救護拠点で備蓄していた医薬品を、地域の薬局で販売品と併せて管理することで、消費期限切れによる廃棄を減らしていくという非常に効率的な方法です。いざ災害時には、地域の薬局の薬剤師が医療救護隊の参集拠点など必要な場所まで医薬品を運んでいくとのこと。まさに、地域に貢献する薬剤師の真骨頂をみる思いです。

さて、2020年オリンピック・パラリンピックが東京で開催されることが決定しました。4年に一度、世界中が盛り上がるスポーツの祭典が間近で開催される喜びとともに、安倍政権発足後に取り組んできた経済政策「アベノミクス」が軌道に乗り、景気が上昇しつつある状況の中で、一段の景気浮揚を期待させる大変嬉しいニュースです。横浜もこの開催の効果は非常に大きなものがあるでしょう。

オリンピック・パラリンピックは、鍛え上げられたアスリートが頂点を目指して競うものですが、2020年に向け、国民は自らの身体やこころの「健康」にますます関心が高まってくることは間違いのないところです。

日本は本格的な高齢社会を迎え、元気で長く生きる「健康寿命」を伸ばしていくことが求められています。横浜市も健康寿命を伸ばしていこうとする取り組みに力を注いでいきます。

健康寿命を伸ばしていくためには、住民の一人ひとりが自分自身で食事や運動に気をつけていくことはもちろんですが、専門家による適切な情報提供やアドバイスが効果的です。地域で活動されている薬剤師の皆様は、薬の、そして健康の専門家です。住民に対する健康アドバイザーとして、これ以上ふさわしい存在はありません。

約2年半前、東日本大震災の発生から1か月が経過した頃、横浜市内には原発事故にともなう放射線量の測定と情報不足が大きな問題になっていました。そうした行政のみの力ではどうすることもできない横浜市の危機を助けてくださったのが、横浜市学校薬剤師会の皆様です。現在では毎日の測定数値をデータ化していますが、当時は多くの市民が様々な情報を基に、手探りで目に見えない放射線と向き合っている状態でした。横浜の安全・安心を救ってくださった皆様には、感謝と御礼の気持ち以外ありません。

より良い横浜づくりのために、今後とも密に連携を図りながら取り組んでまいる所存でございます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

最後に、社団法人横浜市薬剤師会のますますのご発展と貴会の皆様のご活躍を祈念し、あわせて今後も変わらぬご支援をお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。